

うるわしき桜貝ひとつ
この貝は去年の浜辺に

ほのぼのと薄紅染むるは
はろばろとかよう香りは
あ、なれどわが想いは儚く



去りゆける君に捧げむ
われひとり拾いし貝よ

我がもゆるさびし血潮よ
きみ恋ふる胸のさざなみ
うつし世の渚に果てぬ

近ごろはさくら貝を見かけることはほとんどありません。自分の記憶でも唐津の海でだいぶ昔に見つけたのが最後でした。この貝の色と姿のなんと儚げなこと。大事にしたい自然です。

寄せては返す波のリズムと私たちの呼吸の数は同じだそうです。だから海辺にいと落ちて着くのでしょうか。そんなリズムのなかで、浜に落ちている貝がら拾いが結構楽しい暇つぶしになっています。先日も仕事で沖縄に行った際、僅かな時間でしたが、貝がら拾いをしてみました。



上図下部に黄色点線で囲った貝は猛毒を持つ巻貝だそうです。どうもこの他にも「イモガイ」の仲間は人に対して致死量を持つものが多いそうです。ですから生きている貝類をうかつに手にすること、足で踏むことは沖縄・九州・四国あたりでは気を付けたほうがいいかも。

私の場合は、貝がら拾いですので、この点は大丈夫！ 拾った海ごとに分けてとっておくと、その時々のごことが想いだされて、いつときでも心が和みます。でも我ながらヒマな奴だと思えます。ホント